

食物アレルギーについて

私たちの体には、有害な細菌やウイルスなどの病原体から体を守る「免疫」という働きがあります。食物アレルギーはこの「免疫」が本来無害なはずの食べ物に対し過敏に反応し、体に有害な症状が起きる状態のことをいいます。

通常、食べ物は異物として認識しないようにする仕組みが働き、免疫反応を起さずに栄養源として消化・吸収する事ができるので、免疫反応を調整する仕組みに問題があったり、消化・吸収機能が未熟であったりすると、食べ物を異物として認識してしまうことがあります。それによって起こるアレルギー反応が「食物アレルギー」です。食べ物を食べると、腸から吸収されたアレルギーが血液にのって全身に運ばれるため、様々な部位で症状が現れます。食物アレルギーは、食べ物を食べた時だけでなく、触ったり、吸い込んだり、注射液に含まれる

食物抗原が体内に入った時にも起こります。

食物アレルギーは子どもにも多く、年齢が大きくなると少なくなる病気になる。即時型食物アレルギーで食後60分以内に症状が現れ、病院を受診した患者さんを対象とした厚生労働科学研究班の全国調査では、0歳が最も多く33%を占め、1歳までが50・7%と受診例の半数以上を占め、4歳以下の乳幼児が全患者数の70%近くでした。

年齢とともに受診数は減少していきませんが、20歳以上の成人も約9%見られました。成人の食物アレルギー患者も全体に占める割合は小さいとはいえ、相当多数存在すると考えられます。

子どもに食物アレルギーが多いのは、消化機能が未熟であり、アレルギーであるたんぱく質を小さく分解できないことが一つの要因と考えられています。成長にもなって消化吸収機能が発達してくることも、原因食物に対して耐性がつく

メカニズムの一つとされています。

【地域の皆さまへ(お願い)】
新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、次のような取り組みを行っております。ご理解とご協力をお願いいたします。

【診療所】

○診察を受ける方および付き添いの方全員のマスク着用、手の消毒、検温をお願いしております。

○診療所内の消毒と換気を毎日実施しております。

【老健施設】

○原則として、入所者への面会・外泊を禁止しております。

○通所リハビリ利用者に毎日の体調確認と検温を実施しております。

○施設内および送迎車両の消毒と換気を毎日実施しております。

※泉崎公開講座は当面の間、開催を見合わせます。

診療所外来6月担当医

泉崎南東北診療所 ☎0248-53-2415

【お願い】発熱症状、強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)、味やにおいを感じない(味覚・嗅覚障害)などの症状がある方は、医療機関を受診する前にかかりつけ医または県の受診・相談センター(電話 0120-567-747)へ連絡してください。

	月	火	水	木	金	土	日/祝祭日
午前 受付時間 8:30 ~ 11:30	小林利男 整形外科・内科	小林利男 整形外科・内科	内藤 梓 消化器内科・外科	小林利男 整形外科・内科	内藤 梓 消化器内科・外科 6/3.10.17.24診療	総合南東北病院 心臓血管外科	休 診
		内藤 梓 消化器内科・外科		内藤 梓 消化器内科・外科	飯村宗也 眼科 11:00受付終了	内藤 梓 消化器内科・外科 第2.4土曜日診療	
午後 受付時間 13:30 ~ 16:00 (水曜日は 14:30)	北原正樹 内科・形成・皮膚・禁煙	内藤 梓 消化器内科・外科	内藤 梓 消化器内科・外科 14:30受付終了	小林利男 整形外科・内科	内藤 梓 消化器内科・外科 6/3.10.17.24診療	小林利男 整形外科・内科 第1土曜日のみ診療	
	緑川博文 心臓血管外科 6/6のみ診療			内藤 梓 消化器内科・外科		内藤 梓 消化器内科・外科 第2.4土曜日診療	
	6/6 月曜午後 (14:00~16:00)			八木正樹 小児科 6/2.9.16.23.30診療		小鹿山博之 内科・脳外科 第3土曜日のみ診療	

※都合により診療時間や医師の変更がある場合がありますので、詳しい診療案内等は当診療所へお電話にてお問い合わせください。(☎0248-53-2415)
※日曜・祝祭日・年末年始の休日の当番医はしらかわ情報センター(☎0248-23-9909)で確認いただけます。

6/2.4.6(午前)小林利男先生は休診となります。代診にて内藤梓先生(内科)となります。